

第8回 FLECフォーラム+(プラス)

～FLEC・社会的養育地域支援ネットワーク（略称：しゃちネット）・

家庭養育支援機構（略称：ディア）・麦の子会 4団体合同フォーラム～

～子ども子育て支援施策の包括化に向けて～

2026年1月30日（金）～2月1日（日）

早稲田大学 国際会議場 & WEB 開催 ※一部は現地のみ

子ども子育て家庭支援に興味・関心のある方はどなたでもご参加ください！

FLECフォーラム+(プラス)とは

FLECフォーラムは、すべての子どもたちに家庭での生活を（Family Life for Every Child : FLEC）という思いをこめて、家庭養護を中心とした社会的養護とその関連分野に様々な立場で携わる関係者が集い、互いのネットワークを繋げ、強めていくとともに、真に実効性のある施策について意見を交わすことを目的に、7回に渡り開催してきました。

第8回目となる今回は、子どもの居場所事業等地域の家庭支援事業者が集まる団体である「しゃちネット」、里親支援を中心とした事業者が集まる団体である「ディア」、そして札幌を拠点に障害児支援と社会的養護を融合した他に例のない支援体制を展開する「麦の子会」との合同フォーラムという枠組みで、地域の子ども家庭支援と社会的養護、ひいては障害児支援等も含む子ども子育て支援全体の包括化をテーマに、様々な課題を取り上げてまいります。

第8回の主なトピック

<メインシンポジウム>

- 家庭支援と社会的養護～一体的・包括的支援体制への課題～

<シンポジウム>

- 家庭養育推進における協働を考える～里親との協働と社会による子育て～
- 官民協働のとびらをひらく～多機関協働で紡(つむ)ぐ こども家庭支援～
- 児童相談所の現在(いま)を知る

<分科会>

- ファミリーホームの現状と今後の制度のあり方
- ライフストーリーワークと特別養子縁組成立後の支援
- WHAT's 要対協～児家センを活かし、活かされて～

<映画上映>

- 「花束」上映とトークセッション

<クロージングシンポジウム>

- インクルーシブ保育の未来像～児童発達支援センターの今後のあり方～

主催団体紹介

全国家庭養護推進ネットワーク

共同代表



相澤 仁
山梨県立大学・大分大学
特任教授



潮谷 義子
(社福)恩賜財団済生会 会長
元熊本県知事



柏女 靈峰
淑徳大学名誉教授

全国家庭養護推進ネットワークは、関係者相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について、志ある方々が、関係者間の垣根や意見の相違を超えて交流、討議するプラットフォームとして、2019年に設立され、その舞台としてFLECフォーラムを毎年開催してきました。あらためて、当ネットワークの設立発起人の皆様、幹事や事務局の皆様、行政を含む登壇者の皆様、そして何よりも各回にご参加いただいた参加者の皆様のご支援とご協力に、深く感謝申し上げます。

今回のFLECフォーラムは、昨今地域の子育て支援・家庭支援と社会的養護との連携・協働が大きなテーマになっていることから、初めての試みとして、「しゃちネット」・「ディア」・「麦の子会」との合同フォーラムという形で開催することとしました。FLECフォーラムを舞台として、これまで広げてきた全国の熱意に溢れた皆さんとのネットワークが、この合同フォーラムによって、さらに家庭支援や里親支援に携わる皆さんにも広がっていき、さらには障害児施策や母子保健施策、学校教育等にも拡大していくことを強く期待しています。

社会的養育地域支援ネットワーク（しゃちネット）

代表理事



橋本 達昌
社会的養育総合支援
センター一陽統括所長



李 炯植
Learning for All
代表理事

一般社団法人社会的養育地域支援ネットワーク（愛称：しゃちネット）は、2024年の改正児童福祉法の施行を契機とし、行政と民間機関とのより良い連携と、質の高いこども家庭ソーシャルワークの実現を目指して設立された全国ネットワークです。社会的養育地域支援（児童育成支援拠点事業、子育て世帯訪問支援事業etc）はまだ始まったばかりであり、これから全国で様々な実践を積み重ねつつ、行政・民間の支援者それぞれが、交流し、学び合い、支え合うことが重要です。

当ネットワークを通じ、社会的養育地域支援に関わる様々なアクターが連携し、子どもにとってよりよい社会づくりが進んでいくことを期待しています。

家庭養育支援機構（ディア）

理事長



上鹿渡和宏
早稲田大学人間科学学術院教授
社会的養育研究所所長

特定非営利活動法人家庭養育支援機構は、こどもにとって大切なおとなとのつながり、安心と挑戦、自分らしく育つこども期を保障する社会の実現を目指します。現在は特に、里親家庭への支援の質と量の向上、親と一緒に子どもを育てる里親養育の実現に向けて、プログラムやコンサルテーションの実施、人材育成、関係機関の連携強化、社会の気づきと協働を進めています。関係者とのネットワークにより、様々な課題解決に共に取り組む中間支援団体としての役割も果たします。

麦の子会

理事長



北川 聰子
日本ファミリーホーム協議会 会長
日本知的障害福祉協会 副会長
全国児童発達支援協議会 会長
札幌市里親会 理事長

社会福祉法人麦の子会は「困り感のある方々の思いに耳を傾け、みんなが共に生きる」ことを大切にし、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、ファミリーホーム、短期入所、居宅介護、相談支援、発達クリニックなどを運営し、発達に課題のある子どもと家族を支えてきました。

その上で、支援された人が支援する側になっている法人です。乳幼児緊急里親制度や赤ちゃんファミリーホームを開設し、包括的な支援を展開しています。誰もが尊厳をもって希望と安心できる社会を目指しています。

タイムスケジュール

早稲田大学 国際会議場

	井深ホール & ZOOMウェビナー	会議室 1	会議室 2
1月 30日 (金)	13:00 主催者挨拶・来賓挨拶	OD	
	13:15 メインシンポジウム「家庭支援と社会的養護～一体的・包括的支援体制への課題～」	OD	
	15:35		
	15:45 シンポジウム 「家庭養育推進における協働を考える～里親との協働と社会による子育て～」	OD	
	18:00		
1月 31日 (土)	9:30 分科会1 「ファミリーホームの現状と今後の制度のあり方」	OD	
	12:00		
	13:00 シンポジウム「官民協働のとびらをひらく～多機関協働で紡(つむ)ぐ こども家庭支援～」	OD	
	15:00		
	15:10 シンポジウム 「児童相談所の現在(いま)を知る」	OD	
18:30 20:30	18:00		
	レセプション -リーガロイヤルホテル東京-		
2月 1日 (日)	9:30 映画「花束」 上映とトークセッション		
	12:00		
	13:00 クロージングシンポジウム 「インクルーシブ保育の未来像～児童発達支援センターの今後のあり方～」		
	[第1部] 基調講演	OD	
	[第2部] シンポジスト発表	OD	
	[第3部] ディスカッション	OD	
	16:00 閉会の挨拶	OD	
	16:10		

OD :後日録画を配信予定

:無料

:有料

プログラム

1月30日(金) フォーラム1日目 ハイブリッド開催

オープニング 13:00~13:15 ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

OD

主催者挨拶：潮谷 義子（全国家庭養護推進ネットワーク共同代表）
来賓挨拶：齊藤 馨（こども家庭庁支援局長）
世耕久美子（公益財団法人SBI子ども希望財団理事長）

メインシンポジウム 「家庭支援と社会的養護～一体的・包括的支援体制への課題～」

13:15~15:35 ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

OD

今回の合同フォーラムのメインテーマ、地域の家庭支援と社会的養護の包括化に向けた課題について、4団体の中心人物が語り合います！

基調講演： 柏女 露峰（淑徳大学名誉教授）
シンポジスト： 李 炯植（しゃちネット代表理事 認定NPO法人Learning for All代表理事）
橋本 達昌（しゃちネット代表理事 ディア副代表 全国家庭養護推進ネットワーク副代表）
北川 聰子（しゃちネット理事 ディア副代表 全國家庭養護推進ネットワーク副代表）
助言者： 安里賀奈子（こども家庭庁成育局成育環境課長）
小松 秀夫（こども家庭庁支援局家庭福祉課長）
コーディネーター：相澤 仁（第8回FLECフォーラム+実行委員長 全國家庭養護推進ネットワーク共同代表）

シンポジウム 「家庭養育推進における協働を考える～里親との協働と社会による子育て～」

15:45~18:00 ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

OD

里親との協働について、実親との協働などQPIの取組、また企業との協働の事例を紹介し、新しい取り組みと可能性を参加者と検討します。

シンポジスト： 西郷 民紗（早稲田大学人間総合研究センターワークス研究員）
葉田 甲太（エレコム株式会社ヘルスケア事業部執行役員部長）
北川 聰子（社会福祉法人妻の子会理事長）
井口 真一（長野県こども・家庭課児童相談・養育支援室）
安留 昭人（山梨県中央児童相談所処遇指導・移行支援課長）
コメントーター： 胡内 敦司（こども家庭庁支援局家庭福祉課課長補佐）
コーディネーター：上村 宏樹（家庭養育支援機構事務局長 早稲田大学社会的養育研究所 一般社団法人無憂樹代表）

1月31日(土) フォーラム2日目 ハイブリッド開催（一部プログラムは、現地のみ）

分科会 9:30~12:00

OD

分科会1

「ファミリーホームの現状と今後の制度のあり方」

ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

制度創設から17年、障害児やケアニーズの高いサポートが必要な子どもの増加など子どもの状況は大きく変化しています。個別対応職員加算により職業的里親の性格も帶び、赤ちゃんホームの実践や定員4名など、これからファミリーホームの在り方を探ります。

登壇者：徳田 絵美（愛知県常滑市ファミリーホームわたしん家）
三橋みづえ（社会福祉法人妻の子会ファミリーホームりんごちゃん）
野口 啓示（福山市立大学教授 ファミリーホーム野口ホーム）
河野 洋子（大分大学福祉健康科学部講師）
助言者：小松 秀夫（こども家庭庁支援局家庭福祉課長）
藤井 康弘（全國家庭養護推進ネットワーク代表幹事）
コーディネーター：北川 聰子（社会福祉法人妻の子会理事長
日本ファミリーホーム協議会 会長）

分科会2

「ライフストーリーワークと特別養子縁組成立後の支援」

会議室1（早稲田大学国際会議場3階）※現地のみ

ライフストーリーワークの重要性は広く認知されつつあります、その多くは里子や施設で暮らす子どもを対象としています。

本セッションでは、ライフストーリーワークを切り口に特別養子縁組成立後支援に焦点を当て、中長期的支援の必要性を考えます。

登壇者：徳永 祥子（セラピュティックライフストーリーカウンセラー）
安島 大輝（神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所
児童福祉司(SV)）
才村 真理（ライフストーリーワーク相談室、元帝塚山大学教授）
コーディネーター：ロング朋子（一般社団法人ペアホーップ代表）

分科会3

「WHAT's 要対協～児家センを活かし、
活かされて～」

会議室2（早稲田大学国際会議場3階）※現地のみ

要保護児童対策地域協議会と児童家庭支援センターの連携・協働の実践例を紹介し、これから地域における包括的な子育て支援のあり方を考えます。

登壇者：武田 麻里（和歌山児童家庭支援センターきずな）
櫛木 芳高（元有田市役所市民福祉部こども課
こども家庭支援係要保護児童対応専門員）
富樫美和子（社会福祉法人みその）
高橋 潤平（にかほ市市民福祉部こども家庭センター
子ども家庭支援班）
畠村 泰至（なかべこども家庭支援センター紙風船）
助言者：佐藤まゆみ（淑徳大学総合福祉学部教授）
胡内 敦司（こども家庭庁支援局家庭福祉課課長補佐）
コーディネーター：堀 浄信（社会福祉法人光明童園 理事長）

シンポジウム「官民協働のとびらをひらく～多機関協働で紡(つむ)ぐ こども家庭支援～」

13:00～15:00 ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

OD

家庭支援事業が全国各地で展開されるよう、「サテライト」や「コンソーシアム」による運営等、官民協働のとびらを拓く自治体好事例を検証します！

行政説明： 安里賀奈子（こども家庭庁成育局成育環境課長）
シンポジスト：
大橋 雄介（特定非営利活動法人アスクル代表理事 社会的養育地域支援ネットワーク理事）
後藤千鶴子（仙台市元職員 特定非営利活動法人せんたいファミリーサポート・ネットワーク理事）
野尻 富美（家庭支援ネットワークコンソーシアム おむすび亭えちぜん副代表）
山田 賢一（福井県越前市長）
助言者： 安里賀奈子（こども家庭庁成育局成育環境課長）
能島 祐介（尼崎市 こども政策監）
コーディネーター： 橋本 達昌（社会的養育地域支援ネットワーク 代表理事）

シンポジウム 「児童相談所の現在（いま）を知る」 15:10～18:00

ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

OD

児童虐待対応や社会的養護の取組の核となる「児童相談所」。社会の期待は高く、関係者の耳目が集まりますが、その組織や支援プロセス、現状を知る機会は多くはありません。このシンポジウムでは、児童相談所経験者を中心に児童相談所の実情と解決すべき課題等、現在（いま）を共有し、これから児童相談所を考えます。

行政説明： 野中 祥子（こども家庭庁支援局虐待防止対策課長）
問題提起： 川松 亮（明星大学教授）
シンポジスト：
薬師寺順子（枚方市子ども未来部）
渡邊 直（杉並区こども家庭部参事）
河野 洋子（大分大学福祉健康科学部講師）
平岡 篤武（心理相談室 樹（タツキ）室長）
コーディネーター： 藤井 康弘（全国家庭養護推進ネットワーク代表幹事）

レセプション リーガロイヤルホテル東京 18:30～20:30



2月1日（日）フォーラム3日目 ハイブリット開催

映画「花束」 上映とトークセッション 9:30～12:00 ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

上映前後にサヘル・ローズ監督・キャストによるトークセッションを予定しています



映画「花束」上映

俳優・タレントとして幅広く活動するサヘル・ローズが監督を務め、様々な感情や思いを抱きながら児童養護施設で育った若者たちの姿を、ドキュメンタリーとフィクションとドラマを融合させて描いた実験的映画。

児童養護施設で育った8人の青少年たち。一見するとごく普通の青少年と変わらない彼らだが、それぞれが幼少期や思春期に、普通とは言い難い体験をしている。彼らが児童養護施設で過ごした記憶をたどると、彼ら自身にも忘れがたい瞬間がある。その忘れがたい瞬間をカメラの前で彼ら自身が演じることで、彼らが生きてきた痕跡をたどり、記憶の断片を表現する。その姿を通して、現代の日本が抱える大きな闇、その犠牲になっている子どもたち、その当事者である彼らが見つめる一筋の光などを明らかにしていく。

主人公である8人は実際に児童養護施設で育った、いずれも役者ではない普通の若者たち。そのほか、オーストラリア出身のバイオニスト、ボーカリストなど音楽家として活躍するサラ・オレインや、プライベートで短期の里親制度に参加し、児童養護施設の子どもたちとも交流のある名優・佐藤浩市が出演。岩井俊二がエグゼクティブプロデューサー、「LUNA SEA」のSUGIZOが音楽を担当。

2024年製作／94分／G／日本

配給：hanataba project

劇場公開日：2025年1月25日

監督：サヘル・ローズ

脚本：シライケイタ

エグゼクティブプロデューサー：岩井俊二

音楽：SUGIZO

プロデューサー：田井えみ

プロデュース：佐東亜耶

撮影：山口英徳

出演：黄安理、黄佳琳、河野真也、栗原直也、ブローハン聰、星野舞結花、松嶋マジアル、吉住海斗

風羽、サラ・オレイン／佐藤浩市

制作：ロックウェルアイズ



クロージングシンポジウム 13:00～16:00

「インクルーシブ保育の未来像～児童発達支援センターの今後の在り方～」

ハイブリッド（WEB & 井深ホール）



OD

乳幼児期のインクルージョンは、多様な子どもが同じ場で遊び、共に育ち合うことを通じて、お互いの違いを理解し、共生社会の基盤を築く要です。障害のある子どもを支える要となってきた児童発達支援の通園機能や後方支援、地域支援、保育園の新たな機能の再構築について検討します。

【第1部】

基調講演： 三原じゅん子（前内閣府特命担当大臣 参議院議員）

源河 真規子（こども家庭庁長官官房審議官（支援局担当））

課題提起： 北川 聰子（社会福祉法人妻の子会理事長）

調査研究報告：尾西 洋平（子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究事務局次長 社会福祉法人妻の子会）

【第2部】 シンポジスト発表

シンポジスト： 大内 紀彦（神奈川県立鶴見支援学校教員 東京大学教育学部非常勤講師）

光真坊浩史（子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究事務局長 全国児童発達支援協議会理事）

内田 治代（社会福祉法人興望館 特別支援教育コーディネーター）

栗原 正明（こども家庭庁成育局保育政策課長）

今泉 愛（こども家庭庁支援局障害児支援課長）

助言者： 村木 厚子（全国社会福祉協議会 会長）

コーディネーター：柏女 靈峰（淑徳大学名誉教授 全国家庭養護推進ネットワーク共同代表）

【第3部】 ディスカッション

閉会の挨拶 16:00～16:10 ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

OD

相澤 仁（第8回FLECフォーラム+実行委員長 全国家庭養護推進ネットワーク共同代表）

	フォーラム	クロージングシンポのみ	レセプション
日時	1月30日（金） 13:00～18:00 (受付 12:30～) 1月31日（土） 9:30～18:00 (受付 9:00～) 2月 1日（日） 9:30～16:10 (受付 9:00～)	2月 1日（日） 13:00～16:00 (受付 12:30～)	1月31日（土） 18:30～20:30
場所	ハイブリッド 早稲田大学国際会議場 WEB (ZOOMウェビナー) ※一部は現地のみ	ハイブリット 早稲田大学国際会議場 WEB (ZOOMウェビナー)	リーガロイヤルホテル東京 立食パーティー
料金	7,000円／人 (1/5までに支払完了の方) 8,000円／人 (1/6以降にお支払いの方)	無料	8,000円 (1/16までに支払完了の方) 9,000円 (1/17以降にお支払いの方)
〆申切込	1月29日（木）17:00 (お支払いも同日〆切)	1月29日（木）17:00	1月29日（木）17:00 (お支払いも同日〆切)
方支法払	支払いは、銀行振込（事前）のみ。参加申し込み後に、口座をご案内。	—	8,000円の方の支払い方法は、銀行振込（事前）のみ。

<フォーラムの学生割引>

※参加者には、事後、録画を提供する予定です。

- ・学生・生徒の方は、フォーラムに1,000円で参加できます。（要：学生証・写真付）
- ・学生割引による参加者は、現地のみ参加できます。Zoomでの参加はできず、事後の動画配信もありません。
- ・学生割引による参加申込みは、当日会場でのみ受け付けます。
- ・学生証（写真付）をご持参ください。写真がない学生証の場合には、写真付きの身分証と一緒にご持参ください。
- ・現地のみ参加する一般参加の方は、当日会場受付・会場支払いが可能です。参加費は8,000円です。
- ・当日会場受付・会場支払いの方は、Zoomでの参加はできません。事後録画配信は申し込み可能です。

申込方法

<https://isephp.org/flec08plus/>

URL、QRコードよりお申し込みください。携帯電話からアクセス可。

クロージングシンポジウムのみ参加の方も、申し込みが必要です。



留意事項

- ・参加費は3日間共通です。1日ごとの価格設定はありません。
- ・WEB参加・会場参加・事後の録画の視聴の参加費は共通です。一部（WEB参加だけ、会場参加だけ、事後録画だけ）の場合も、併用の場合も、参加費は同額です。
- ・参加費はおひとり毎の料金です。同じ端末を使って複数人でWEB視聴する場合は、視聴する人数全員のお申し込みをお願いいたします。
- ・フォーラムのお支払い後のキャンセル、参加費の返金は一切承っておりません。支払い後に参加できなくなった場合は、事後の録画をご視聴ください。
- ・レセプションのみ1月9日(金)までキャンセルを承ります。手数料を差し引いて返金させていただきます。
- ・振込みに時間がかかる場合には、事前にご連絡ください。お申し込み後、一定期間以内に振込みがなく、連絡がとれない方は、参加申し込みを取り消す場合がございます。
- ・領収書が必要な方は申込時にお申し込みください。
- ・国際会議場の井深ホール、ロビーは飲食禁止です。それ以外の部屋内は飲食可です。昼食会場を設けます。
- ・フォーラムの写真は報告書等で公にすることがあります。フォーラムの資料、映像、写真などは著作権法などで保護されています。主催者や作成者の許可なく使用することはできません。
- ・当団体は消費税免税事業者です。インボイス登録はしておりません。参加費は非課税です。

アクセス

早稲田大学早稲田キャンパス
国際会議場早稲田大学早稲田キャンパス国際会議場
東京都新宿区西早稲田1丁目20-14

交通アクセス：

- ・高田馬場駅（JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線）> 徒歩（約20分）
- ・高田馬場駅（JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線）> 都営バス乗車 > 西早稲田バス停 > 徒歩（約5分）
- ・早稲田駅（都電荒川線）> 徒歩（約5分）
- ・早稲田駅（東京メトロ東西線）> 徒歩（約10分）
- ・西早稲田駅（東京メトロ副都心線）> 徒歩（約17分）

リーガロイヤルホテル東京

〒169-8613

東京都新宿区戸塚町1-104-19

※フォーラム会場（早稲田大学国際会議場）より徒歩5分

全国家庭養護推進ネットワーク

共同代表

潮谷 義子（社会福祉法人恩賜財団済生会 会長、社会福祉法人慈愛園 相談役、元熊本県知事）
柏女 靈峰（淑徳大学名誉教授）
相澤 仁（山梨県立大学・大分大学 特任教授）

幹事

相澤 仁（山梨県立大学・大分大学 特任教授）
柏女 靈峰（淑徳大学名誉教授）
上鹿渡和宏（早稲田大学人間科学学術院 教授、早稲田大学社会的養育研究所 所長）
河野 洋子（特定非営利活動法人 chieds 代表理事、大分大学福祉健康科学部 講師）
北川 聰子（社会福祉法人妻の子会 理事長、日本ファミリーホーム協議会 会長）
佐藤まゆみ（淑徳大学 総合福祉学部 教授）
潮谷 義子（社会福祉法人恩賜財団済生会 会長、社会福祉法人慈愛園 相談役、元熊本県知事）
長田 淳子（二葉乳児院院長、フォースターリングチーム統括責任者）
橋本 達昌（一陽統括所長、全国児童家庭支援センター協議会協同研究所長）
藤井 康弘（代表幹事、元厚生労働省障害保健福祉部長、社会福祉法人日本心身障害児協会理事長）
宮田 俊男（医療法人社団 DEN 理事長、早稲田大学理工学部院先進理工学研究科教授）
ロング朋子（一般社団法人 ベアホープ 代表理事）

設立発起人

※設立発起人の肩書きは設立当時（2019年2月当時）

相澤 仁（大分大学福祉健康科学部 教授）／猪飼 周平（一橋大学大学院社会学研究科 教授）
市川 亨（共同通信編集局生活報道部 次長）／大谷 泰夫（日本保育協会理事長、元厚生労働審議官）
奥山眞紀子（国立成育医療研究センターこころの診療部 統括部長）
大日向雅美（恵泉女子大学 学長）／影山 秀人（影山法律事務所 弁護士）／柏女 靈峰（淑徳大学総合福祉学部 教授）
上鹿渡和宏（長野大学社会福祉学部 教授）／唐澤 剛（元厚生労働省家庭福祉課長、元内閣官房地方創生総括官）
木下 勝之（日本産婦人科医会 会長）／柳原 智子（読売新聞東京本社 調査研究本部 主任研究員）
笹川 陽平（公益財団法人 日本財団 会長）／潮谷 義子（社会福祉法人 慈愛園 理事長、前熊本県知事）
濫谷 昌史（関東学院大学社会学部 教授）／土井 香苗（ヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表）
永松 悟（大分県杵築市長）／西澤 哲（山梨県立大学人間福祉学部 教授）
西島 善久（公益社団法人 日本社会福祉士会 会長）／西田 陽光（一般社団法人 次世代社会研究機構 代表理事）
野澤 和弘（毎日新聞 論説委員）／林 浩康（日本女子大学人間社会学部 教授）
板東久美子（日本司法支援センター 理事長）／福井トシ子（公益社団法人日本看護協会 会長）
藤井 康弘（元厚生労働省障害保健福祉部長）／宮島 清（日本社会事業大学専門職大学院 教授）
宮田 俊男（大阪大学産学共創本部特任教授、医療法人社団DEN 理事長）／村木 厚子（元厚生労働事務次官）
村瀬嘉代子（一般財団法人 日本心理研修センター 理事長）／山縣 文治（関西大学人間健康学部 教授）
山本 詩子（公益社団法人 日本助産師会 会長）／横倉 義武（公益社団法人 日本医師会 会長）
横堀 昌子（青山学院女子短期大学子ども学科 教授）／米山 明（心身障害児総合医療療育センター外来療育部長）

一般社団法人 社会的養育地域支援ネットワーク

代表理事 李 炯植（認定NPO法人Learning for All 代表理事）
代表理事 橋本 達昌（社会的養育総合支援センター一陽統括所長）
理事 大橋 雄介（特定非営利活動法人アスクイク 代表理事）
理事 北川 聰子（社会福祉法人 妻の子会理事長）
監事 関口 尊成（弁護士）／須賀 裕哉（弁護士） 事務局長 松葉 早智

設立発起人

赤平 若菜（一般社団法人HOMEおかえり 代表理事）
岡田 妙子（認定NPO法人パディチーム理事長、こども・子育て訪問ネット（ここほネット）世話人）
光眞坊浩史（一般社団法人全国児童発達支援協議会理事）
斎藤 弘美（社会福祉法人大洋社理事長、全国母子支援施設協議会副会長）
笹川 陽平（日本財団名誉会長）／白井 智子（社会起業家、株式会社こども政策シンクタンク代表取締役）
早川 悟司（社会福祉法人子供の家理事、全国養護問題研究会副会長）
福田 雅章（社会福祉法人養徳園理事長、全国児童家庭支援センター協議会会長）
堀 浄信（社会福祉法人光明園理事長、全国児童家庭支援センター協議会事務局長）
松田 妙子（せたがや子育てネット代表理事、特定非営利活動法人子育てひろば全国連絡協議会理事）

特定非営利活動法人 家庭養育支援機構

理事長 上鹿渡和宏（早稲田大学教授、早稲田大学社会的養育研究所所長）
副理事長 橋本 達昌（社会的養育総合支援センター一陽統括所長）
副理事長 北川 聰子（社会福祉法人 妻の子会理事長）
理事 長田 淳子（社会福祉法人 二葉乳児院院長）
理事 渡辺 守（特定非営利活動法人キーアセット代表）
理事 佐藤 剛（西日本こども研修センターあかし研修事業課長）
監事 相澤 仁（大分大学・山梨県立大学特任教授）
事務局長 上村 宏樹（早稲田大学社会的養育研究所、一般社団法人無憂樹代表）
事務局次長 加本 有希（立教大学教育研究コーディネーター）

お問い合わせ：  一般社団法人
共生社会推進プラットフォーム
Inclusive Society Empowerment Platform

TEL

011-600-6723

Email

flec@isephp.org

URL

<https://isephp.org/>

住所

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-14 バリューHRビル2階